

# 会議結果報告書

平成28年3月15日

会議の名称	志木市環境市民会議
開催日時	平成28年3月15日（火）午後2時00分～午後3時45分
開催場所	市役所4階 第三委員会室
出席委員	毛利将範委員長、山口美智江副委員長、天田眞委員、 大村相哲委員、根本マサ子委員、木下里美委員、山崎光久委員、 湊田延吉委員、東條容子委員  (計9人)
欠席委員	宮川清一委員、志村晃委員、園田真見子委員、根岸良一委員、 浅川恵弘委員  (計5人)
委員以外出席者	末永課長、須田主幹、吉野主任  (計3人)
議題	1. 環境ブースにおけるテーマについて 2. 志木市民環境大学について
結果	「親と子の市内まるごとクリーン作戦」には、継続的に「環境ブ ース」を設置し、ごみ減量化に係る啓発を図っていく。 また、志木市民環境大学の事業については。今後も緊密な連携 を図りながら実施していく。  (傍聴者0人)
事務局	末永課長、須田主幹、吉野主任  (計3人)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 題

(1) 環境ブースにおけるテーマについて

(委員長)

平成27年10月25日（日）に開催された「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART2」の際には、「生ごみに係る水切り作業の重要性」をテーマに掲げ、「環境ブース」を設置し、参加者に対してごみ減量化の啓発を図ったところである。

本年度の「クリーン作戦PART1」は、平成28年5月14日（土）に開催が予定されている。まずは、各委員において、前回同様、市役所会場に「環境ブース」を設置することについてのご異議はないか。

(各委員「異議なし」)

(委員長)

事務局においては、今回も「環境ブース」の設置にご協力をいただければと考えるがいかがだろうか。

(事務局)

「環境ブース」の設置については、引き続きご協力して行きたい。前回設置した「環境ブース」は、啓発活動を実施するうえで、最適な拠点となった事は議論の余地がなく、大勢の参加者が「環境ブース」に足を運んでいただき、盛況裡に実施出来たものと考えている。

よって、今回も「環境ブース」を設置できるよう、庁内等の調整を図っていく。

(委員長)

事務局には、よろしく取り計らっていただきたい。

(各委員「異議なし」)

(委員長)

次に、今回の「環境ブース」のテーマについて、各委員のご意見を伺いたい。

(委員)

前回と同一のテーマで良いのではないか。市民の意識の醸成・向上には、何よりも継続性が重要と考える。また、前回、簡便的な水切り方法を実践し、参加者に情報提供ができた事は、効果的であったと考える。

(各委員「異議なし」)

(委員長)

それでは、今回の「環境ブース」のテーマも、「生ごみに係る水切り作業の重要性」としたいが、事務局のご意見を求める。

(事務局)

テーマについても同意した。本市としても、市ホームページや広報紙で生ごみに係る水切りの重要性について啓発を行い、家庭系ごみの減量化に努めているところなのでよろしくお願ひしたい。

## (2) 志木市民環境大学について

(委員長)

次に、来年度実施する「志木市民環境大学」の開催に向けて、各委員のご意見を求める。

(委員)

受講生の募集方法については、広報紙への掲載だけでなく、チラシを作成し、各公共施設に配置する必要があるのではないか。また、5月14日(土)に設置予定の「環境ブース」においても参加者に配布し、広く市民に周知を図るべきだと考える。

(委員)

開講に向けて、各講座の詳細内容について協議・調整していく必要がある。受講生に興味・関心を持っていただく工夫が重要だ。

(委員)

受講生同士で、積極的な意見交換ができる機会を設けるべきではないか。受講者参加型の講座のあり方を考えるべきだ。

(委員長)

いずれにしても、今後もさらに、事務局と打ち合わせを重ねていく必要がある。

(事務局)

事務局としても、「志木市民環境大学」は是非成功させたい。したがって、志木市環境市民会議とは、当該事業を実施するにあたり、緊密な連携を図っていきたいと考えている。

また、チラシに関しては、デザインをはじめとしたその内容について、後日協議の場を設けたいと考える。

#### 4. 閉 会